

実践例 県立小山高等学校

教科・科目等 英語科・英語コミュニケーションⅠ（1学年）

本時の目標

インドのスラム街に住む、または住んでいた過去のある子どもたちが発行する英字新聞 Balaknama の見出しを読み、インドのスラム街の状況を推察する。

子どもたちの基本的人権が守られていないことを英文から読み取り、基本的人権がないことで受ける不利益、もし自分がその立場だったら、ということを想像し、解決策の糸口を考える。

育てたい資質・能力等

人権にかかわるさまざまな問題を正しく認識する。（知性）

他者の心情を想像する力や、自分の考えについて筋道を立てて話したり、話の趣旨を正しく理解しながら聞いたりする力を養う。（技能）

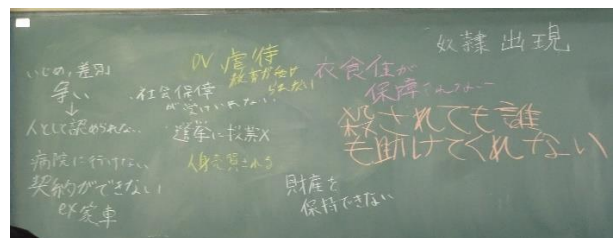
教材 ワークシート、教科書

展開

●Balaknama が発行された経緯や、同世代の若者たちがどのような思いで作っているか、その存在意義をリスニングクイズとオーラルイントロダクションで確認する。

●Balaknama の見出しを読んで日本語に直し、どのような内容かを推測する。

●「基本的人権が守られているかどうか」を話し合い、「それが守られていないとどのような不利益があるか、何ができないか」を自分たちの生活と照らし合わせて考える。



↑ワークシート

●「もし、自分がこのような状況に置かれたらどのように感じるか」を想像し、同世代の若者の人権について考える。

●「もし自分が〇〇だったら、このような策をする」を話し合い、英文で提案する。

●各班の考えを聞き合い、様々な解決策について理解を深める。